

# 令和7年度学校自己評価システムシート (県立鳩ヶ谷高等学校)

目指す学校像	3学科の特徴を効果的に発揮し、生徒一人ひとりが希望を持ち、夢に向かって意欲的かつ主体的に学ぶ学校
--------	--

重点目標	1 教員の授業力向上と、生徒が分かったと実感できる確かな学力と自己肯定感を育成する。 2 生徒一人ひとりの適性を捉え、将来を見据えた進路指導を推進する。 3 メリハリがあり生徒理解に努めた生徒指導を継続し、自主自律の精神を育む 4 生徒の活躍の場を創出し、地域や関係機関との連携強化及び保護者・地域から慕われ信頼される学校づくりを更に進める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 令 和 8 年 2 月 4 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<b>【現状】</b> 教員の授業改善・ICT活用により、生徒の授業満足度が上がっている。 <b>【課題】</b> 生徒の課題解決力等の育成及び資格取得の推進に向け、教員のより一層の授業改善・指導力向上が望まれている。	生徒が分かったと実感できる学力の向上と自己肯定感の育成	①年次研修や授業公開週間を活用し、教員間の授業研究・授業改善に取り組む。 ②ICTや図書館を活用して調べ学習、学習内容の発表、生徒同士の学び合いなどに取り組む。 ③各種資格取得を目指し、補習等の指導を行い、受験者の合格率を向上させる。	①他の教員の授業参観：2回以上 昨年度：2回以上参観者 40.0% ②授業の満足度の向上 昨年度：88.2% ③専門資格表彰者数 昨年度：情報処理科 67人 園芸デザイン科 32人	①他の教員の授業参観 1回以上授業参観者 36人 (69.2%) ②授業の満足度 93% ③専門資格表彰者数 情報処理科 67人 園芸デザイン科 29人	A	<b>【課題】</b> グループ学習やICTの活用等により授業満足度は向上した。教員相互の情報交換の機会創出が求められる。 <b>【改善策】</b> ICT機器の整備、相互授業参観を含めた授業改善と資格取得の推進を図っていく。
2	<b>【現状】</b> 近年、大学への進学者が増加傾向にある。生徒一人ひとりの進路希望の実現に向け、学校全体で取り組んでいる。 <b>【課題】</b> 入試方法の多様化に伴い、基礎学力の向上に加えて自己表現力の育成に早期から取り組むことが望まれている。	生徒一人ひとりの適性を捉え、将来を見据えた進路指導の推進	①進路に対する意識向上を図り、進路決定率を向上させる。 ②進路希望別(朝、放課後、長期休業中)の補習や進路ガイダンス、小論文指導、分野別説明会等を実施し、きめ細やかな進路指導と継続的な学習指導を行う。 ③総合的な探究の時間等を利用し、外部講師を積極的に招致した講演会を実施し、社会で信頼され活躍できる人間力を育てる。	①進路決定率 昨年度：91% ②進路指導の満足度 昨年度：74.3% ③外部講師を招き、生徒・教員・保護者への啓発ができたか。 外部講師の招致 昨年度：19回	①進路決定率 今年度：89% ②進路指導の満足度 今年度：81.4% ③外部講師招致数 16回/年	A	<b>【課題】</b> 大学進学希望者が増加する中、生徒の学力向上が課題である。 <b>【改善策】</b> 生徒・保護者、教職員で最新情報を共有し、早期より進路意識を高めていながら、基礎学力と学習習慣の定着、自己表現力を育てていく。
3	<b>【現状】</b> 挨拶や身だしなみ等、生徒の規範意識は高い。 <b>【課題】</b> 交通事故等もあり、交通事故防止、自転車の交通ルールやマナー指導が必要である。	自律心をもって善し悪しを判断できる生徒の育成	①挨拶・交通安全指導を継続し、学校全体で自転車運転マナーや交通安全の意識向上に取り組む。 ②全教員の共通理解のもと、HRや集会等を通じて、生徒自身が社会人として必要なマナーや挨拶、健康管理を考え行動できるように丁寧な指導を行う。 ③生徒が自ら企画を立案するなど、学校運営に参画させ、学校行事満足度及び学校生活満足度を向上させる。	①年間交通事故件数の減少。 昨年度：9件/年 ②1日平均遅刻者数の減少。 昨年度：8.7人/日 身だしなみ等取組度の向上 昨年度：97.3% ③学校生活満足度の向上 昨年度：90.0% 学校行事の満足度の向上 昨年度：82.4%	①年間交通事故件数 9件/年 ②1日平均遅刻者数 7.8人/日 身だしなみ等取組度の向上 今年度：81.4% ③学校生活満足度の向上 今年度：85.4% 学校行事の満足度の向上 今年度：86.2%	B	<b>【課題】</b> 自転車運転マナー、悩みや基本的な生活習慣の課題がある生徒への支援が急務である。 <b>【改善策】</b> 規範意識の醸成とともに、外部の専門家と連携しながら個々の生徒のニーズに応じた支援を引き続き行っていく。
4	<b>【現状】</b> 地域との連携や広報活動により、地元の中학생や保護者からの関心が少しずつ高まっている。 <b>【課題】</b> 広報活動や地域の様々な団体との連携を通して、生徒の自発的な活動を推進するとともに、地域から慕われ信頼される学校になることが望まれている。	地域連携を通して、生徒が活躍できる場の提供	①PTA活動や中学校での進路行事、地域書店等との連携等、ボランティア活動を通じて連携を深め、広報活動を充実させる。 ②学校説明会やオープンスクール、母校訪問を充実させる。 ③ホームページ等を活用して、学校の最新の教育活動を積極的に生徒・保護者・地域に配信する。 ④保護者や地域向け授業公開日の実施により本校の教育活動や成果を発信するとともに、参加者によるアンケート結果から更なる課題を発見する。	①学校からの情報発信の満足度 昨年度：89.1% 地域との交流回数の向上 昨年度：13回/年 ②説明会の中学生・保護者参加者数 昨年度：計2,938人 ③学校ホームページの更新回数 昨年度：29.6回/月 ④授業の年間公開日数 昨年度：5日/年	①情報発信の満足度 今年度：82.2% 地域との交流回数の向上 今年度：13回/年 ②説明会の参加者数 今年度：計994組 ③ホームページの更新回数 18.1回/月 ④授業の年間公開日数 今年度：5日/年	B	<b>【課題】</b> 近隣地域の方々への情報発信に力を注いでいく必要がある。 <b>【改善策】</b> 保護者や地域のニーズを把握しながら、学校説明会の在り方を検討するとともに、SNSやホームページでの積極的な情報発信を進め、地域に根付いた学校へ近づけていく。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和8年2月6日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
ICTと組み合わせてグループワーク・ペアワーク等の活動が組織的取組として定着している。授業満足度も高く、生徒の学習意欲の向上に効果的である。 資格検定の厳しさ・難しさが生徒に実感でき、専門的学習への動機付けになっている。	
進学希望者と就職希望者の双方への進路支援が適切に展開されている。企業との連携により、地元企業の情報提供と職業理解の機会が提供されている。 学習習慣の確立に向けては、学習時間の確保に加え、キャリア教育や生涯学習の視点から「なぜ学ぶのか」という根本的な学習動機付けを行っていく必要がある。	
生徒指導に関しては、本当に見事に成果を出している。 近隣住民からの苦情・要望に対して、ピンポイントに素早く対応する体制が確立しており、学校と地域の信頼関係構築に貢献している。 保護者の送迎時の駐停車をお断りする看板設置により、生徒の登下校時の交通事故リスクを軽減する効果が期待される。	
立地環境を生かして多様な事業が連携・展開されている。早期に学校説明会を開催するなど、生徒募集に係る意欲的な姿勢が示されている。 保護者や地域への複数の情報発信源を有する一方で、優れた取組に係る情報が見つけにくく、情報到達率が低い現状がある。 既存の事業や発信媒体を活用しながら、より積極的に本校の魅力をアピールしていく必要がある。	